

## 平成16年「国立大学における獣医学教育に関する協議会」提言の実施状況

### 【協議会提言の主な内容】

- ① 大学間の連携協力による充実
- ② 教育研究体制の充実に対する自主的・自律的な努力の必要性
- ③ 附属家畜病院の機能の充実
- ④ 大学間連携や人獣共通感染症の教育研究など教育研究環境の充実に向けた国の支援の充実

### 【国立10獣医系大学の実施状況】

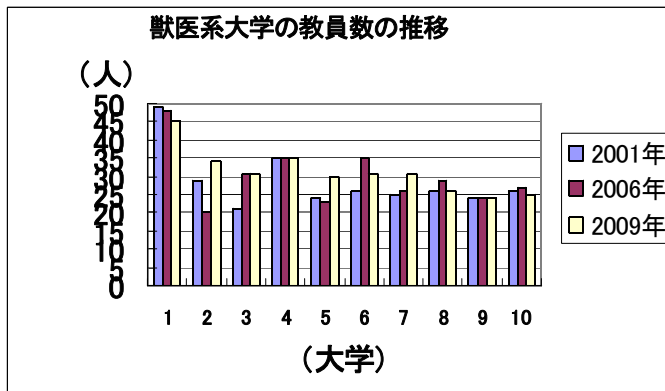
#### ① 大学間の連携協力による充実 ⇒連携協力の更なる充実が必要

- (1) 大学間の教育課程連携 … 一部の大学（3大学）、一部の実習科目で実施
- ・ 帯広畜産大学、鳥取大学が、農水省補助事業を受託して、産業動物獣医師修業実習（1週間以上）を実施し、他大学生を受入れ
  - ・ 北海道大学が、牧場実習で麻布大学等を受入

- (2) 大学間の施設等の共同利用…国立大学では、上記（1）の事例以外なし

(参考) 学外他機関との連携…国立9大学で、農業共済組合、動物園、家畜保健衛生所等と連携

#### ② 教育研究体制の充実に対する自主的・自律的な努力 ⇒体制充実に向けて更なる取組が必要



- ・ 2001年（H13年）から増加… 5 大学
- ・ 2001年（H13年）と同人数… 3 大学
- ・ 2001年（H13年）から減少… 2 大学

(\*) 出典：文部科学省調べ

#### ③ 附属家畜病院の機能の充実 ⇒教員体制の充実に向けて更なる取組が必要

##### (1) 教員等の配置体制

→2001年（H13年）から殆どの大学で増加（10大学中9大学）

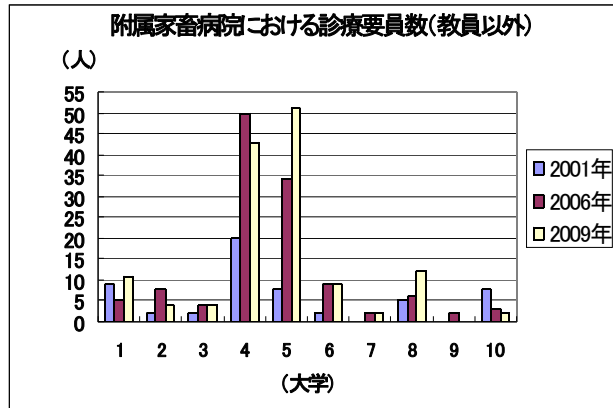
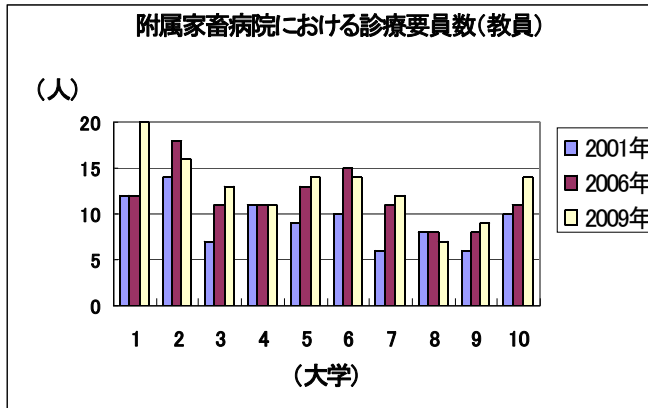
- (増要因) ・兼任教員数、有給獣医師（診療専従）、無給研修医、動物看護師の増  
 (課題) ・専任教員数は増加せず（1, 2名）、無給研修医の増

##### (2) 施設設備の充実

→2001年（H13年）から全ての大学で増加(10大学中10大学)

(配置された診療機器の例)

X線CT検査システム、超音波診断装置、動物用内視鏡システム等



(\*) 出典：文部科学省調べ

### (3) 附属家畜病院に勤務する教員の勤務実態

#### 附属家畜病院に勤務する教員の勤務実態(国立)

		年間授業担当単位数	附属家畜病院への週当たり出勤日数	附属家畜病院への週当たり診療時間数
教授	専任	12.17	4.29	25.43
	兼任	14.12	3.05	17.72
准教授	専任	10.13	3.00	30.00
	兼任	11.22	3.38	19.00
講師	専任	—	—	—
	兼任	10.44	3.00	12.60
助教	専任	3.42	4.33	21.67
	兼任	4.74	3.82	22.59
助手	専任	0.00	5.00	36.00
	兼任	—	—	—
合計	専任	6.43	4.16	22.62
	兼任	8.10	2.65	14.38

#### 附属家畜病院に勤務する教員の勤務実態(私立)

		年間授業担当単位数	附属家畜病院への週当たり出勤日数	附属家畜病院への週当たり診療時間数
教授	専任	4.26	4.80	25.00
	兼任	14.16	2.06	12.22
准教授	専任	9.01	4.33	21.42
	兼任	12.12	2.78	17.44
講師	専任	2.01	2.00	12.25
	兼任	12.98	2.76	16.67
助教	専任	3.93	4.25	30.00
	兼任	8.85	3.00	15.44
助手	専任	0.00	5.00	37.50
	兼任	2.70	2.40	19.20
合計	専任	3.20	3.40	21.03
	兼任	8.47	2.17	13.50

(参考) 教員の担当単位数 : 専任教員数 38.69人 担当単位数 1.76 (全国大学平均)

(\*) 出典：文部科学省調べ

**④ 大学間連携や人獣共通感染症の教育研究など教育研究環境の充実に向けた国の支援の充実（主な支援）**

**(i) 国立大学特別教育研究経費**

- 北海道大学「国立獣医系大学による標準的な基盤教育プログラムの開発」（平成20年）
- 帯広畜産大学「獣医農畜産分野における国際協力人材の育成」（平成19年）  
「人獣共通原虫病の制圧」（平成20年）
- 岩手大学「HACCP（ハサップ）システムで食の安全を担う専門職業人の養成」（平成19年）
- 東京大学「感染症対策研究連携事業－感染症国際研究センターの設置－」（平成20年）
- 岐阜大学「人獣感染防御研究センターにおける事業の推進」（平成17年）
- 鳥取大学「鳥由来人獣共通感染症疫学研究センターにおける事業の推進」（平成17年）
- 宮崎大学「人獣共通感染症教育モデル・カリキュラムの開発」（平成17年）

**(ii) 国公私を通じた大学教育改革の支援**

- 質の高い大学教育推進プログラム
  - ・帯広畜産大学「大動物総合臨床獣医学教育プログラム」（平成20年）
  - ・酪農学園大学「酪農場での長期実習を組み込んだ新教育方式」（平成20年）
- 社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム
  - ・帯広畜産大学「食品衛生にかかわる人材育成プログラム」（平成20年）
- 現代的教育ニーズ取組支援プログラム
  - ・東京大学「畜産物の安全安心を保證する人材の育成教育」（平成20年）
- 大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム
  - ・鳥取大学・岐阜大学・京都産業大学
  - 「獣医・動物医科学系教育コンソーシアムによる社会の安全・安心に貢献する人材の育成」（平成21年）

**(iii) 私立学校施設整備費補助金及び私立大学等研究設備整備費補助金等**

- 私立大学学術研究高度化推進事業
  - ・日本獣医生命科学大学「ゲノム・プロテオーム解析による予防獣医学の展開」（平成17年）
- 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
  - ・日本大学「人獣共通感染症の戦略的国家疫学研究の推進と若手研究者の実践的育成」（平成21年）
- 私立大学学術研究高度化推進事業
  - ・北里大学「高度画像解析技術を駆使したがん治癒率向上に関する研究」（平成19年）  
「伴侶動物の重要疾患に対する分析イメージングの応用」